

別記様式第1号の2（第3条、第51条の8関係）

消防計画作成（変更）届出書

年 月 日

東広島市消防局長（消防署長）様

防火 管理者
防災

住 所 _____

氏 名 _____

該当の□印にレを付ける。

別添のとおり、防火 防災 管理に係る消防計画作成（変更）したので届け出ます。

管理権原者の氏名 (法人の場合は、名称及び代表者氏名)	(1)		
防火対象物 又は _____ の所在地 建築物その他の工作物	(2)		
防火対象物 又は _____ の名称 建築物その他の工作物 (変更の場合は、変更後の名称)	(3)		
複数権原の場合に管理権原 に属する部分の名称 (変更の場合は、変更後の名称)	(4)		
防火対象物 又は _____ の用途 ^{※1} 建築物その他の工作物 (変更の場合は、変更後の用途)	(5)	令別表第1 ^{※1}	(6) () 項
その他必要な事項 (変更の場合は、主要な変更事項)	(7)		
受 付 欄 ^{※2}	経 過 欄 ^{※2}		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 □印のある欄については、該当の□印にレを付けること。
 3 ※1欄は、複数権原の場合にあつては管理権原に属する部分の情報を記入すること。
 4 ※2欄は、記入しないこと。

【消防計画作成（変更）届出書記入要領】

項目	記入要領				
(1) 管理権原者の氏名 (法人の場合は、名称及び代表者氏名)	事業所の管理について権原を有する者の氏名を記入する。 ※法人の場合は、法人の名称及び代表者の職・氏名を記入する。				
(2) 防火対象物又は建築物その他の工作物の所在地	当該防火対象物（又は建築物その他の工作物）の所在地を記入する。				
(3) 防火対象物又は建築物その他の工作物の名称 (変更の場合は、変更後の名称)	1 当該防火対象物（又は建築物その他の工作物）の名称を記入する。 2 変更届出の場合は、変更後の名称を記入する。				
(4) 複数権原の場合に管理権原に属する部分の名称 (変更の場合は、変更後の名称)	1 当該防火対象物（又は建築物その他の工作物）の管理権原が複数に分かれている場合、届出をする事業所の名称を記入し、入居する階を（ ）内に記入する。 なお、内部選任で消防計画を一括して作成する場合は、全ての事業所の名称、占有する階を記入する。 (例1) キャバレー〇〇（地下1階） (例2) ××ビル <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>〇〇商事(株)</td><td>(1階～4階)</td></tr><tr><td>××(株)</td><td>(5階・6階)</td></tr></table> 3 変更届出の場合は、変更後の名称を前例により記入する。	〇〇商事(株)	(1階～4階)	××(株)	(5階・6階)
〇〇商事(株)	(1階～4階)				
××(株)	(5階・6階)				
(5) 防火対象物又は建築物その他の工作物の用途 (変更の場合は、変更後の名称)	1 当該防火対象物（建築物その他の工作物）の用途を記入する。 (例) 工場、事務所、特定用途の複合 2 防火対象物（又は建築物その他の工作物）の一部に入居して営業している店舗等の場合は、入居している店舗等の政令別表1に掲げる用途を記入する。				
(6) 令別表第1	前(5)で記入した用途を、政令別表第1に掲げる用途区分及び項区分により記入する。 (例) (12)項イ、(15)項、(16)項イ				
(7) その他必要な事項 (変更の場合は、主要な変更事項)	1 当該事業所の防火・防災管理者の連絡先の電話番号を記入する。 2 当該事業所の従業員数を記入する。 3 変更届出の場合は、主な変更事由を記入する。 (例) 消防計画の内容変更、用途の変更、建物の増改築による変更、防火（防災）管理者の変更、管理権原者の変更 4 その他届出事項に含まれない特異事項を簡記する。 5 記入内容が多岐にわたる場合は、別紙として添付する。				